

平成28年度 学校評価結果公表シート

作成 みどり幼稚園

1. 本園の教育目標

一人ひとりの子どもを大切に、子どもが主体的に自立していくために発達心理学にあった遊具・道具を指示し、主体的にあそべるような日課を子どもの遊ぶ時間に保障し、先生はあそびを具体的に助け、子どもが安定するように、また信頼関係を深めるために、わらべうたを伝え、日本人であることの民族性を伝えていくことを大切にしています。子どもも大人も居心地の良い美的な環境を用意することを大切にしています。
「強く・明るく・仲良く」
強く 心身ともに元気でたくましい子 ねばり強い子 よしあしを自分で考える子
明るく 素直に話しをする子 挨拶のできる子 考え工夫する子
仲良く 友達と仲良く遊べる子 約束を守れる子 人のいたみのわかる子

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

保育の充実を測りつつ、園の教育目標、保育の内容を再確認しながら次年度新制度に移行を予定しているので施設型給付への理解と必要書類作成を行なう。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
・幼稚園マニュアルの内容を確認し、職員間で共通理解を図る	・幼稚園マニュアルの内容を確認し、訂正と追加の作業を行い、共通理解を図った。
・施設型給付へ移行するにあたり、保護者の同意を頂く。	・ポリシーブックの見直しと重要事項説明書を完成させ、保護者の同意を頂く。
・一人ひとりの子ども達の把握 一人ひとりに応じた指導と援助	・各クラスでの活動が配信できるように、計画的にお知らせすることを意識し、安心して頂くように心がけていく。 ・新人職員の困っていることなども言葉に出し、全職員で子ども達をみていく。
・わらべうたの充実	・わらべうた研修(園内研修)を行い、各クラスでの指導と、指導者研修会に参加した保育士がリードをとり、わらべうたのレパトリーを伝えたりと、積極的に取り組んだ。
・教育の質の向上のために、園内研修を充実させる。	・様々な分野への研修会に参加し、情報を共有することができた。
・保護者とのコミュニケーションをはかり、本園の保育を保護者に伝える。	・引き続き保護者との懇談の機会を多く持つように心がけ、意見や質問等に対して園の考えを説明した。 ・サポーターズクラブの充実と運営。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

今後取り組むべき課題について、全教職員が共通理解し、それぞれ自己評価し、取組状況を話し合うことを通して、本園としての方針を明確にすることができた。
昨年度より取り入れたシフト制の課題や連携施設(さらな保育園)との連携を更に深めていくことが重要。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
特別支援教育	個別の指導計画(スクラム等)の作成が定着化してきた。 関係機関との情報共有もスムーズに行うことができた。
園に対する保護者の満足度の把握	引き続き、保護者との懇談機会を多くし、行事等についてのアンケートを実施するなど、保護者が期待する幼稚園像を把握し、対応したい。
保護者に対する情報の提供	幼児の幼稚園での普段の様子を保護者にもっと分かってもらう為、ホームページ掲示板等をさらに活用したい。 保護者会を2回開催し、新制度移行の説明をした。

6. 学校関係者の評価

委員からは良好な運営をされ、また学校評価にも積極的に取り組まれているとの意見を頂いた。
合わせて、今後も引き続き積極的に取り組むことを望むとの意見を頂いた。